【013】　1から200までの整数のうち、3の倍数であるが4の倍数でない数は何個あるか。

1　16個
2　48個
3　50個
4　66個
5　70個

【014】　145,179,230の3つの数をそれぞれある整数で割ると、どれも割り切れず、余りがどれも等しくなった。ある整数の各位の和はいくらになるか。

1　8
2　9
3　10
4　11
5　12

【015】　10から100までの整数が書かれているカードが1枚ずつある。このカードから、4で割って2余る数、5で割り切れる数、6で割って1余る数が書かれたカードをそれぞれ抜き取った。残ったカードは全部で何枚か。

1　32
2　38
3　42
4　46
5　48

【016】　2012に2ケタの整数を加えて9の倍数を作る。加える2ケタの整数のうち最も小さい数の各位の和はいくつか。

1　2
2　3
3　4
4　5
5　6

【017】　4ケタの整数がある。この数を9倍すると、数字の並び方がもとの整数と逆になった。もとの整数の十の位はいくらか。

1　1
2　3
3　5
4　6
5　8

©Civilセミナー ZEN《問題野郎》

【013】 **3** 50個

3の倍数の中から12の倍数を引く
3の倍数＝200÷3＝66
12の倍数＝200÷12＝16
66－16＝50

【014】 **1** 8

余りが等しい＝それぞれ2つずつの数の差は、ある整数で割り切れる。
179－145＝34　34＝17×2
230－179＝51　51＝17×3
230－145＝85　85＝17×5

よって、ある整数は17とわかる。
1+7＝8

【015】 **3** 42枚

4で割って2余る数＝23個
5で割り切れる数＝19個
6で割って1余る数＝15個

重複している数字、10,25,30,50,55,70,85,90の8個

抜き取ったカード＝23+19+15-8＝49
10～100まで91枚あるので、91-49＝42

【016】 **3** 4

加える数字は13

【017】 **5** 8

もとの整数は1089
千の位が1、一の位が9とわかれば難しくない。

©Civilセミナー ZEN《問題野郎》